



県庁舎改修事業 その在り方を問う

と試算されているが、これは平成24年の見積り額で、その後の資材の値上がり等を考慮していない。また、配管等の設備や機材の老朽化修復工事を併せて進めた場合は、更に何十億円が必要

に耐震化方針に転換しているが、広志会は「なし崩し的」に耐震化を進めることに疑問を呈した。

県庁 その

「なし崩し的」耐震化案では、県庁舎の耐震改修に係る予算案が示されたが、内容は完成から60年が経過する本館、南館、議事堂の耐震補強と、これらを含む6 庁舎の浸水対策、北館・農林庁舎の液状化対策を行うというものだ。

庁舎だけの課題ではない

庁舎だけの課題ではない

特に留意すべきは、県庁舎問題は広島市を中心市街地活性化の課題でもあるということだ。

現在の庁舎は、紙屋町の一等地にもかかわらず、東館以外は

と思われる。耐震化工事により30年は持つと説明しているが、その根拠も全く不明確なものである。

グローバルリーダー育成校(GL校)のイメージ

1学年の生徒数		学習言語	教育内容	
中1	日本人各50人 に加え外国人 留学生各20人	日本語 中心	プロジェクト学習 (広島・日本の魅力発信など)	学習指導要領に に基づく必修教科
中2				
中3				
高1	日本人各50人 に加え外国人 留学生各20人	英語 中心	プロジェクト学習 (国際社会の平和と発展など)	国際バカロレア
高2				
高3				
大学など		国内外の大学に進学可能		

GL育成校の設置 手順を踏んで進めよ

県教委は2月中旬に、全寮制の中高一貫教育の「グローバルリーダー育成校」を平成30年春の開校予定と発表した。グローバルリーダー(GL)育成校とは、「学びの変革」を先導的に実践する学校として位置づけ、高校では多くの外国人留学生を入れた英語中心の授業や、国連訓練調査研究所(ユニタール)広島等と連携したプロジェクトで得させ、同時に県の「学びの変革」をけん引したいとして創設される。

の異例」とした上で、「全国に先駆けて進めたい」と知事が目指しており、平成30年開校が必要だと説明した。

学びの変革進めたい知事

校設置は、本県の今後の教育に大きな影響を与える重要な事業なので、必要な準備をする時間は十分に確保すべきであり、現在の設置スケジュールを撤回して新たな予定に組み直し、議会に示した上で進めるべきだと進言した。

さうに言えども、この県議会だよりをもつと充実させ、県議会の情報を広く多くの県民の皆さんにお伝えすべきです。しかし現状では、決まつたことだけしか掲載していません。何が問題なのか、どんな議論があつて、賛成意見や反対意見などはどうなのか、どこにも載つていません。可決した広島県の事業を伝えているだけでは、広島県の広報誌と何ら変わりません。

には、**議会の見える化**をすることです。もっと議会の情報を開くことです。
まずは、**議会での賛否**。誰が何に**賛成**し、何に**反対**したのか？これを公表し、県民の皆さん次の投票基準になるようにするべきです。自分と同じ意見の議員は誰なのか？自分と違う議員は誰なのか？それこそが選挙における投票基準になるべきことなのに、県議会のホームページでしか、その賛否を見るることはできません。これでいいのでしょうか？

我々はこれを、県議会の広報誌である**県議会だより**で

議会の 見える化を!

